

事業所における自己評価総括表

公表

○事業所名	こどもサポート教室「きらり」大分中津校			
○保護者評価実施期間	2025年11月15日 ~ 2025年12月20日			
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	11	(回答者数)	10
○従業者評価実施期間	2025年11月15日 ~ 2025年12月20日			
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	6	(回答者数)	6
○事業者向け自己評価表作成日	2026年 1月 13日			

○分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	一人ひとりに最適化された個別療育プログラム	お子様一人ひとりの発達状況や特性、保護者様のご要望を丁寧に伺い、個別支援計画を作成しています。その計画を基に最適なプログラムを組み立て、無理なく力を伸ばせる環境を整えています。マンツーマン支援により柔軟な対応ができ、安心して取り組める点が大きな強みです。	個別療育の強みを生かしながら、より多様な経験が積める環境づくりを進めてまいります。お子様同士の関わりや集団活動の機会を広げ、社会性を育む取り組みを強化します。また、保護者様との連携を深め、ご家庭と事業所が一体となって支援できる体制づくりにも努めてまいります。
2	保護者様が安心して相談できる体制と環境	保護者の方が相談しやすい環境づくりを大切にしています。毎回、お子様の活動の様子を丁寧にお伝えし、ご家庭や園での様子も伺いながら必要に応じて助言しています。また、療育の見学ができる保護者スペースを設け、安心して相談できる体制を整えています。	今後も保護者支援の充実を図り、安心して悩みを話せる場づくりに努めます。環境整備に加え、スタッフの専門性と対応力向上のための研修を進め、より相談しやすい体制を整えてまいります。
3	利用児の力を地域へ届ける交流イベント	地域向けのイベントを定期的に行い、こどもたちも主体的に参加できる機会を設けています。地域との関わりを自然に広げられるよう工夫し、交流を通してつながりが深まる環境づくりに取り組んでいます。	地域イベントをさらに充実させるため、こどもたちが主体的に参加できる内容を増やし、準備段階から関わる仕組みを取り入れています。地域の方との交流機会も広げ、こどもたちが自然に地域とかかわる環境づくりを進めています。

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	利用者の送迎を行っていない	本校舎では送迎を保護者様にご協力いただいております。	利用時間はできる限りご希望に合わせて調整していますが、混雑する時間帯やスタッフ配置の都合で対応が難しい場合があります。改善に向けて、利用状況の見直しや時間帯の分散化を進め、より利用しやすい体制づくりに取り組んでいます。
2	公共交通機関による通所が難しい	本校舎へお越しの際は、公共交通機関としてバスが利用できます。最寄りの「全徳入口」バス停から徒歩1分です。本数が限られるため、待ち時間は本校舎内でお過ごしいただけます。	バスの本数が限られているため、待ち時間は本校舎をご利用いただけますが、その時間はサービス提供時間には含まれません。なお、駐車場は約10台分を確保しておりますので、お車でお越しの際はご活用ください。
3	国道沿いで交通量が多いいため、出入口で飛び出しの危険性がある	本校舎は国道213号沿いに位置しており、交通量が多いいため、出入口では飛び出しの危険が生じやすい状況です。安全確保のための見守りや動線の工夫を進めています。	事故や怪我を防ぐため、出入口は施錠し、開閉は保護者様にお願いしています。お子様が誤って開錠しないよう、視覚支援としてイラストを掲示しています。また、本校舎に関係のない車両の侵入を防ぐためのスタンドも設置し、安全確保に努めています。

保護者等からの事業所評価の集計結果								
事業所名		公表						
事業所名		2026年 2月 3日						
		利用児童数 11						
		回収数 10						
		チェック項目	はい	どちらともいえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
環境・体制整備	1	子どもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	8	1	1		・人数が集まると活動スペースは狭いかな、と感じます。	運営基準を遵守しつつ、可能な範囲でレイアウトの工夫や活動内容の調整を行い、より快適に過ごせる環境づくりに努めてまいります。
	2	職員の配置数は適切であると思いますか。	8	2				子どもたちが安心して過ごせる環境を維持できるよう、適切な人員配置に努めてまいります。
	3	生活空間は、子どもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	9			1		子どもにとってわかりやすく安心できる環境づくりや、障害特性に応じた配慮の充実に努めています。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	10				・パーテーションで区切られていて集中しやすい環境だと思う。	今後もより良い環境づくりに向けて工夫を重ねてまいります。
適切な支援の提供	5	子どものことを十分に理解し、子どもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	9	1				今後も一人ひとりの特性を丁寧に把握し、より専門性の高い支援が提供できるよう、職員間での情報共有や研修の充実に努めています。
	6	事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	9			1		今後も支援内容をより分かりやすくお伝えできるよう、情報発信の工夫に努めています。
	7	子どものことを十分理解し、子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、児童発達支援計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	10				・日常の困りごとや問題行動をしっかりとヒアリングしてニーズに合わせた計画書を作成してくれる。	今後も保護者の声を大切にしながら、より適切な支援計画の作成に努めています。
	8	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	10					
	9	児童発達支援計画に沿った支援が行われていると思いますか。	10					
	10	事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	9	1			・プリントをしたり体を動かしたりアイディアに富んだプログラムだと思う。	今後も多様な活動を取り入れながら、子どもたちが楽しく意欲的に参加できるプログラムづくりに努めています。
	11	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、その他地域で他の子どもと活動する機会がありますか。	9			1		地域向けイベントを通して交流の機会を設けておりますが、今後も活動内容がより伝わりやすいよう、情報発信の工夫に努めています。
保護者への説	12	事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	10					
	13	「児童発達支援計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	10				・毎回とても丁寧に説明していただけてわかりやすい。	今後も保護者の皆さんに安心していただけるよう、丁寧で分かりやすい説明を心がけてまいります。
	14	事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	9			1	・参加してないので。	年に一度の開催を行っておりますが、今後はより多くの方に参加していただけるよう、日程調整や開催情報の早めのご案内に努めています。
	15	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの健康や発達の状況について共通理解ができていると思いますか。	10					
	16	定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	9	1			・悩みや不安なことがあると、相談しやすい。 ・先生方が話しやすい。 ・特に面談等ない。	今後も気軽に相談していただける関係づくりを大切にしてまいります。一方で『特に面談等はない』とのお声もいただきました。必要な支援がより届くよう、面談の機会やご案内の仕方について改善に努めています。
	17	事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	10					

明等	18	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	9			1	参加したことがないので。	今後は参加しやすいよう、開催情報をより分かりやすく、早めにお知らせするなど、参加機会の向上に努めてまいります。
	19	こどもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、こどもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	9	1				今後も相談しやすい環境づくりと周知の工夫に努め、いただいた相談には迅速かつ適切に対応できるよう取り組んでまいります。
	20	こどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	10					
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果をこどもや保護者に対して発信されていますか。	10					
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	9			1		今後も個人情報保護の取り組みを丁寧に説明し、安心してご利用いただけるよう適切な管理と周知に努めてまいります。
非常時等の対応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	10					
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	10					
	25	事業所より、こどもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	10					
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	10					
満足度	27	こどもは安心感をもって通所していますか。	10					
	28	こどもは通所を楽しみにしていますか。	10					
	29	事業所の支援に満足していますか。	10					

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		公表日			
環境 ・ 体 制 整 備	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
環境 ・ 体 制 整 備	1 利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	○		同時刻の利用者の相性を考えて支援スペースの選択を行っています。	同時間帯に利用児が多い感じる場面があります。特に児童発達支援では集中できる時間が限られているため、職員配置上は対応可能であっても、同時間帯の利用児数についても適切な調整が必要であると考えております。
	2 利用定員や子どもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	○		パート職員の対応もあり、記録作成の時間を確保できており、現在の人員配置は適切であると感じています。また、朝礼時には支援数の変更等に応じて柔軟に対応できるよう、適切な職員配置を行っています。	職員の配置数自体には問題はないと考えておりますが、配置数に対して利用児の受け入れが多くなる時間帯が一部に見られます。そのため、より適切な支援環境を維持するためには、時間帯ごとの受け入れ人数の調整が必要であると感じております。
	3 生活空間は、子どもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	○		子どもの目線に合わせた掲示物の工夫を行っています。ひらがなやイラストを用いた視覚的に分かりやすい掲示を取り入れ、子どもが自分で理解しやすい環境づくりに努めています。	児童発達支援スペースはカーテンで仕切ることで、子どもの視界に入りにくい環境づくりができており、落ち着いて過ごせる点が良好です。一方で、カーテンの一部に破損が見られることがありますため、定期的な点検と修補が必要であると感じています。
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか。	○		その日の支援内容や利用者の活動に応じて、個別に環境を整備しています。利用者が安心して取り組めるよう、活動に適した空間づくりを意識し、柔軟に環境調整を行っています。	最近は肌寒い日が増えているため、昨年同様に布テープ等を用いて防寒対策を施すことが望ましい時期になってきています。環境面の調整を行うことで、より快適に過ごせる環境づくりにつながるを考えています。
	5 必要に応じて、子どもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	○		相談室は、児童発達支援の子どもたちにとって落ち着いて過ごせるクールダウンの場として有効に機能しています。刺激を減らした環境で気持ちを整えられたため、安心して活動へ戻ることができます。	引き続き、その取り組みを継続してまいります。
業務 改 善	6 業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	○		朝礼・終礼にて情報共有を行い、支援内容やその他の業務について、常により良い方法を検討し実践しています。職員間での連携を大切にし、質の向上に向けた取り組みを継続しています。	スタッフ間での情報交換は適切に行われており、連携して対応できていると感じています。一方で、話し合いに積極的に参加できていないスタッフがいる点は課題として認識しています。支援の評価や対応方法についての議論に主体的に参加できるよう、今後も働きかけを行っていきたいと考えています。
	7 保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けしており、その内容を業務改善につなげているか。	○		保護者と日頃から話し合う機会を設けているため、継続的に情報共有ができます。支援に必要な情報を相互に確認しながら、連携した対応につなげています。	引き続き、その取り組みを継続してまいります。
	8 職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	○		支援の進め方や対応方法について、日頃から職員間で話し合いを行い、より良い支援につなげています。また、計画性を持つて行動することを意識して共有しているため、先を見通して動ける職員が増えていると感じています。さらに、朝礼・終礼だけでなく、ガルーン等のシステムや記録ファイルも活用し、情報共有の質と効率の向上に努めています。	引き続き、その取り組みを継続してまいります。
	9 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	○		第三者評価については、現時点では実施しておりません。	第三者評価については、現時点では実施しておらず、今後の実施予定もございません。
	10 職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	○		定期的に研修を実施し、支援内容の確認や知識の共有を行っています。また、地域の療育センター(つくし園)とも毎月勉強会を開催しており、こうした取り組みが支援の質の向上につながっていると感じています。	引き続き研修を積み、支援の質の向上に努めてまいります。
適切 な	11 適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	○		ホームページへの掲載および玄関への掲示を行い、利用者や保護者が確認しやすいように情報を提供しています。	引き続き、その取り組みを継続してまいります。
	12 個々の子どもに対してアセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	○		モニタリングや目標設定にあたって職員間で話し合いを行っており、適切に取り組めていると感じています。また、日頃から継続的に情報交換を行うことで、支援の質を維持・向上できる体制が整っています。	引き続き体制の整備に努め、より良い支援環境の構築を進めてまいります。
	13 児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、子どもの支援に関わる職員が共通理解の下で、子どもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	○		朝礼や終礼で気になった点を共有しているため、職員間で共通認識が形成されていると感じています。日々の情報交換を通して、支援の質を維持できる体制が整っています。	引き続き、子どもの最善の利益を第一に考え、より良い支援の実現に努めてまいります。
	14 児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	○		個人ファイル分け、それぞれに目標を挟んで常に確認しながら支援計画を立てているため、計画に沿った支援が実施できていると感じています。目標を日々意識できる環境が整っており、継続的な質の向上にもつながっています。	引き続き努力を重ね、より良い支援の提供に努めてまいります。
	15 子どもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	○		会社が定めたアセスメントシートを用いてアセスメントを実施しており、統一した基準で情報を整理・把握できる体制を整えています。	引き続き、その取り組みを継続してまいります。
	16 児童発達支援計画には、「児童発達支援ガイドライン」の「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、子どもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	○		個別支援計画に内容を記載したうえで、保護者への相談・助言を行い、必要に応じて保育園・幼稚園・学校への往訪も実施しています。関係機関と連携しながら、子どもにとってより良い支援につながるよう取り組んでいます。	引き続き、その取り組みを継続してまいります。

支援の提供	17 活動プログラムの立案をチームで行っているか。	○		期限が近づいた際には話し合いの場を設け、内容の確認や調整を行っています。また、各職員が担当の際に計画を立案しており、担当の機会も均等に割り振られているため、公平性を保ちながら適切に運用できています。	引き続き、チームで協力しながら計画の立案を進めてまいります。
	18 活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	○		前任者の支援内容を確認したうえで、重複を避けながら個々に合った支援計画を立案しております。また、他職員が実施しているプログラムも把握し、連携を図りながら多様なプログラムの企画・実施に努めています。	今後も引き続き、より良い支援の提供に努めてまいります。
	19 子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	○		目標に沿って支援を立案し、必要に応じて適切な頻度で取り入れております。また、レクリエーションや午前中の預かりなど、小集団での活動も実施しております。	今後も引き続き、より良い支援の提供に努めてまいります。
	20 支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	○		きらりレクは、実施前に内容を共有する場を設け、職員のスキル向上にもつながる取り組みを行っております。担当制ではないため、各職員が過去の支援を参考にしながら支援内容を考案し、必要に応じて打ち合わせを行っております。	今後も引き続き、より良い支援の提供に努めてまいります。
	21 支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	○		気になった点については適宜共有し、必要に応じて打ち合わせを行っております。情報共有は記録ファイルや朝礼・終礼での申し送り、社内システムを活用して進めております。	今後も引き続き、より良い支援の提供に努めてまいります。
	22 日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	○		週末毎に確認を行い、記録を確認したり、利用者の状況を確認したりしております。また、記録ファイルへの記入を通して、効率的な情報共有が図れていると感じております。	引き続き、日々の記録を徹底し、支援の検証・改善に努めます。
	23 定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	○		6ヶ月ごとにモニタリングを実施し、児童発達支援の内容を振り返りながら必要性を判断し、計画の見直しを行っております。	引き続き、その取り組みを継続してまいります。
関係機関や保護者との連携	24 障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、その子どもの状況をよく理解した者が参画しているか。	○		担当者会議や関係機関との会議には、児童の状況をよく理解している職員が参加し、必要な情報共有を行なながら、支援に反映させております。	引き続き、その取り組みを継続してまいります。
	25 地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	○		つくし園や幼稚園・保育園と連携し、支援や保護者への助言につなげる体制を整っております。また、必要に応じて地域の関係機関とも連携し、情報共有を行っております。	引き続き、地域の教育機関や福祉関連施設と連携し、より良い支援体制の構築に努めてまいります。
	26 併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	○		担当者会議を定期的に開催し、支援内容の共有と調整を行っております。	引き続き、その取り組みを継続してまいります。
	27 就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	○		該当者がいないため（令和6年6月オープン）	該当者がいる場合には、適切に対応し取り組んでまいります。
	(28~30は、センターのみ回答)				
	28 地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組等を行っているか。				
	29 質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。				
	30 (自立支援)協議会こども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。				
	(31は、事業所のみ回答)			月に一度、地域の中核療育施設であるつくし園との勉強会を実施しております。	引き続き、地域の支援センターと連携し、スーパーバイズを受けながら、より良い支援の提供に努めてまいります。
	31 地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか。	○		地域交流型のイベントを開催しており、活動の中で地域の方々と交流する機会を設けています。	現時点では多くありませんが、今後もイベント等を通じて交流を図ってまいります。
	32 保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。	○		積極的に声をかけるよう努めており、リアルタイムで生じた悩みや課題について相談できる体制が保たれていると考えております。	引き続き、保護者の皆様が相談しやすい体制づくりに努めてまいります。
	33 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	○		年に1回、保護者会にてペアレントトレーニングを実施しております。 2025年度は10月18日に開催 参加家庭数6組	今後も、年1回以上のペアレントトレーニングの機会を提供できるよう計画しております。
	34 家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	○		契約時に説明を行い、質問がある場合には随時対応しております。	引き続き、丁寧な説明を心がけてまいります。
	35 運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	○			

保護者への説明等	36	児童発達支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	○		児童発達支援計画の作成にあたっては、こどもや保護者の意思を尊重し、最善の利益を踏まえながら、意向を確認する機会を設けております。	引き続き、その取り組みを継続してまいります。
	37	「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	○		児童発達支援計画を示しながら支援内容の説明を行い、保護者の同意を得ております。	引き続き、その取り組みを継続してまいります。
	38	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	○		定期的なモニタリング（6か月に1回の面談）に加え、希望者や必要と判断される方には随時声をかけ、相談・面談・助言を行っております。	引き続き、その取り組みを継続してまいります。
	39	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	○		保護者同士が交流できるよう、スケジュールを調整することがあります。また、保護者会や兄弟児も参加できるイベントを開催し、交流の機会づくりに取り組んでおります。	引き続き、その取り組みを継続してまいります。
	40	こどもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	○		こどもや保護者からの相談や申入れに対応できる体制を整備し、周知を行ったうえで、相談や申入れがあった際には迅速かつ適切に対応しております。	引き続き、その取り組みを継続してまいります。
	41	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	○		掲示物のほか、公式LINEやInstagram、HP、ブログなどを活用し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に向けて発信しております。	引き続き、その取り組みを継続してまいります。
	42	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	○		個人情報の取扱いについては、関係法令を踏まえ、適切な管理と保護に十分留意して対応しております。	引き続き、その取り組みを継続してまいります。
	43	障害のあるこどもや保護者との意思疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	○		障害のあるこどもや保護者との意思疎通や情報伝達においては、個々の状況に応じた配慮を行い、安心してやり取りできるよう努めています（筆談の準備・手話の掲示物など）	引き続き、その取り組みを継続してまいります。
	44	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	○		可能な限り取り組むとともに、地域との交流を意識したイベントの企画・実施にも努めております。	引き続き、その取り組みを継続してまいります。
	45	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	○		事故防止、緊急時対応、防犯、感染症対応等の各種マニュアルについては、会社で研修を通じて策定するとともに、事業所においても家族への周知や、発生を想定した訓練を実施しております。	引き続き、その取り組みを継続してまいります。
非常時等の対応	46	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	○		業務継続計画（BCP）を策定し、非常災害の発生に備えて、定期的に避難・救出等の必要な訓練を実施しております。	引き続き、その取り組みを継続してまいります。
	47	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	○		フェイスクートに必要項目を記入し、職員間で情報共有を行っております。	引き続き、その取り組みを継続してまいります。
	48	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。		○	当事業所では食事の提供は行っておりません。	今後も、食事の提供の予定はありません。
	49	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	○		安全計画を策定し、安全管理に必要な研修や訓練、その他の措置を講じることで、安全管理が確保された環境のもと支援を行っております。	引き続き、その取り組みを継続してまいります。
	50	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	○		こどもの安全確保に向けて、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容を家族等へ周知しております。周知方法は、掲示と公式ラインでの発信です。	引き続き、その取り組みを継続してまいります。
	51	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	○		ヒヤリハット事例を事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討を行っております。	引き続き、その取り組みを継続してまいります。
	52	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	○		虐待防止に向けて、職員の研修機会を確保するなど、適切な対応を行っております。	引き続き、その取り組みを継続してまいります。
	53	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	○		やむを得ず身体拘束を行う場合の基準については、組織として決定し、こどもや保護者へ事前に十分な説明を行い、了解を得たうえで、児童発達支援計画に記載しております。	引き続き、その取り組みを継続してまいります。